



Clara Saal

クララザール
じゅうろく音楽堂

ヴィオラの夕べ

～クララザールで体験するヴィオラの魅力～

2022 **12/20** 火

18:30開場 19:00開演

会場:クララザールじゅうろく音楽堂
岐阜市本郷町1-28

抽選によりご招待

50組100名さま
(申込方法は下記をご参照ください)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催が変更になる場合があります。

プログラム

- クララ・シューマン: 3つのロマンス 作品22
- バッハ: フーガの技法より BWV1080
- メンデルスゾーン: チェロソナタ第2番 ニ長調 作品58
- ロベルト・シューマン: アダージョとアレグロ 作品70
- ブラームス: チェロソナタ第1番 ホ短調 作品38

※曲目・曲順は変更になる場合があります。



辰巳 真菜
(ヴィオラ)

愛知県春日井市出身。3歳よりヴァイオリン、桐朋学園大学入学後よりヴィオラを始める。小学5年生から高校2年生までNHK名古屋青少年交響楽団に在団。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ヴァイオリン専攻卒業。その後、ウィーン国立音楽大学にてヴァイオリン専攻、モーツァルテウム大学にてヴィオラ専攻として研鑽を積む。

第66回全日本学生音楽コンクール名古屋大会高校の部第1位、第20回長江杯国際音楽コンクール弦楽器部門第1位。2016年、東京国際芸術協会より学費全額助成を受け、ウィーン音楽夏期セミナーにてエドワード・ツェンコフスキー氏のマスタークラス受講。また2017年同セミナー春期時には修了コンサートに選抜される。

第40回読売中部新人演奏会出演。WSO(ヴェーベルン・シンフォニー・オーケストラ)のメンバーとしてウィーン楽友協会やコンチェルトハウス等で演奏。

これまでにヴァイオリンを加藤瑞木、加藤知子、クリスチャン・ダーリンガー、エリーナ・ヴァハラ、ヴィオラを鈴木康浩、クラウディア・シュナウアー、トーマス・リープ、室内楽を故・名倉淑子、毛利伯郎、漆原啓子、磯村和英、山崎伸子、鶴園紫磯子、ベーター・シュマイヤー、シュテファン・メンデルの各氏に師事。

兵庫芸術文化センター管弦楽団コメンター。現在、ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》よりレナト・スクロヴァツァ(1980年製)を貸与。



大井 駿
(ピアノ)

第1回次世代指揮者コンクール第1位、ならびに細川賞を受賞。1993年、東京都出身。幼少期を鳥取で過ごす。パリ市立音楽院ピアノ科、ミュンヘン国立音楽演劇大学古楽科、ザルツブルク・モーツァルテウム大学ピアノ科、同大学指揮科に加え、ヤマハ音楽奨学支援制度創設以来初となる指揮専攻奨学生として、ザルツブルク・モーツァルテウム大学指揮科修士課程を修了。

2019年より、ユンゲ・ドイチュ・フィルハーモニー管弦楽団鍵盤楽器奏者。指揮をブルーノ・ヴァイル、イオン・マリ、ラインハルト・ゲーベル、ピアノを迫昭嘉、ジャック・ルヴィエ、アンドレアス・グロートホイゼン、チェンバロとフォルテピアノをクリスティーネ・ショルンハインの各氏に師事。

これまで指揮者やソリストとして読売日本交響楽団、広島交響楽団、広島ウインドオーケストラ、モーツァルテウム管弦楽団、マイニンゲン宮廷楽団、パリ警視庁吹奏楽団等のオーケストラと共演するほか、2020年には赤坂離宮迎賓館にて、皇室所蔵の1906年製エーラーを用いたりサイタルを行う。

ピアノ、指揮、古楽のフィールドでの演奏活動にとどまらず、音楽之友社にて連載や文筆活動もおこなっている。

申込方法

10月下旬から、十六銀行ホームページ(<https://www.juroku.co.jp/>)、クララザールホームページ(<https://www.juroku.co.jp/clarasaal/>)にて申込受付を開始いたします。

申込締切

2022年11月21日(月)

当選発表

当選通知の発送をもって代えさせていただきます(2022年11月30日(水)までに発送予定)。

お問い合わせ先

公益財団法人 十六地域振興財団 クララザールじゅうろく音楽堂 事務局 TEL:058-266-2552

新型コロナウイルス
感染防止に関するお願い

本公演は国、県、業界団体のガイドラインに則って開催いたします。
ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いいたします。

※就学前のお子さまのご同伴はご遠慮ください。 ※お申込みに際し、ホームページにていただきました個人情報は、当イベント実施以外の目的で利用することはありません。

主催:公益財団法人 十六地域振興財団 共催:サランカホール